

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6763 URL <http://www.noble-j.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一柳 和夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理室管掌 (氏名) 小田切 純夫 (TEL) 044-422-3831  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,000	2.3	114		144		372	28.8
25年3月期第1四半期	3,071	9.5	126		13		523	

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 824百万円( 24.9%) 25年3月期第1四半期 659百万円( %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	7.63	7.62
25年3月期第1四半期	10.74	10.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	20,843	17,680	83.0
25年3月期	20,151	17,127	83.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 17,290百万円 25年3月期 16,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		2.50		2.50	5.00
26年3月期					
26年3月期(予想)		2.50		2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,000	5.4	50		100		300	62.8	6.15
通期	14,000	6.3	300		400	1.6	500	48.9	10.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

富貴電子(淮安)有限公司、  
新規 2社(社名) ノーブルトレーディング(バンコク)、除外 社(社名)  
株式会社

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	50,709,167株	25年3月期	50,709,167株
26年3月期1Q	1,893,457株	25年3月期	1,892,177株
26年3月期1Q	48,816,310株	25年3月期1Q	48,758,021株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
5. 補足情報 .....	11
製品別販売実績 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国では雇用などにやや改善の傾向が見られたものの、欧州での財政不安は収まる気配が無く、この影響を受けた中国などの新興国経済はさらに減速が進み、全体的に厳しい状況が続きました。わが国の経済は円安レベルに留まる為替や株価の上昇など経済政策への期待感が現れましたが、実体経済への具体的効果は充分ではありません。

当社グループの属するエレクトロニクス業界では、市場を牽引してきたスマートフォンの拡大にやや陰りが見られ、テレビやデジカメなどのデジタル家電やパソコンは低迷状態が続きました。

このような状況の中で当社グループは、従来からの市場の確保と新規市場の開拓、海外製造事業所の安定化と効率化、収益確保のための更なる経費削減とコストダウンを進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は30億00百万円（前年同期比2.3%減）となりました。売上高が低迷したため営業損失は1億14百万円（前年同期は1億26百万円の営業損失）となりました。円安による為替差益を計上したため経常利益は1億44百万円（前年同期は13百万円の経常損失）となりました。固定資産売却益を計上したため四半期純利益は3億72百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 電子部品

前面操作ブロック（ICB）製品は、昨年の復興需要の反動から暖房機向けが減少し、ビデオカメラ向けは低迷が続きましたが、ヘルスケア向けやデジカメ向けが伸長しました。可変抵抗器はプロ用オーディオ向けが伸びましたが、パソコン関連やデジタル家電向けが減少しました。固定抵抗器はエアコンや給湯器向けなどが順調に伸びました。その他製品ではゲーム機向けが減少しました。

この結果、電子部品の売上高は29億34百万円（前年同期比1.9%減）となり、営業損失は27百万円（前年同期は95百万円の営業損失）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

#### a. 日本

前面操作ブロックのヘルスケア向けやデジカメ向けが好調でしたが、ビデオカメラ向けや暖房機向けが減少しました。

この結果、売上高は14億1百万円（前年同期比15.0%減）、営業利益は99百万円（前年同期は53百万円の営業損失）となりました。

#### b. アジア

前面操作ブロックでは自動車電装向けやデジカメ向けが好調でした。可変抵抗器ではパソコン関連やデジタル家電向けが減少しましたが、プロ用オーディオ向けが好調でした。固定抵抗器ではエアコンや給湯器向けが伸びました。

この結果、売上高は14億24百万円（前年同期比15.3%増）、営業損失は1億22百万円（前年同期は34百万円の営業損失）となりました。

#### c. 北米

テレビ向け前面操作ブロックが減少しましたが、自動車電装やオーディオ向けの可変抵抗器が好調でした。

この結果、売上高は1億7百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は9百万円（前年同期比447.0%増）となりました。

## その他

機械設備の製造販売は、国内の設備投資が低迷しているため、また中国経済の減速の影響を受け、全体に低調でした。

この結果、その他の売上高は66百万円（前年同期比18.1%減）、営業損失は88百万円（前年同期は33百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ6億92百万円増加し208億43百万円となりました。その内訳は、流動資産が7億32百万円増加し128億67百万円、固定資産が40百万円減少し79億76百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ1億40百万円増加し31億63百万円となりました。その内訳は、流動負債が99百万円増加し24億35百万円、固定負債が40百万円増加し7億28百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ5億52百万円増加し176億80百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の83.0%から変更ありません。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

引き続き先行きが不透明な経済状況が予想されますが、平成26年3月期の業績予想に関しては、平成25年5月14日に公表いたしました見通しに変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、富貴電子(淮安)有限公司及びノーブルトレーディング(バンコク)株は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

前連結会計年度において、経常損益および当期純損益とも利益に転じ、当四半期連結会計期間も継続して経常利益および四半期純利益を計上しておりますが、営業利益を計上するまでには至っておりませんが、当社グループをとりまく事業環境は厳しい状況が継続しております。

しかしながら、当該状況を解消するために、緊急の課題である収益改善と競争力向上のため、生産体制の見直しを進めました。タイ、中国、ベトナム、インドネシアの4ブロックで効率的に生産を行い、資材調達などでも現地化のメリットをさらに追及してまいります。販売面では、中国やASEAN地区での顧客の動向に対応するための販売力、提案力、サービスの強化を図ってまいります。またこれらの市場向け新製品の開発、投入を急ぎ、売上高の回復に努めてまいります。さらには新市場向け新製品の開発に向けて研究開発とマーケティングを進めてまいります。

また、当社グループ外部からの借入もなく自己資本比率も83.0%であり、四半期連結貸借対照表上の現金及び預金も72億12百万円と前連結会計年度末に比べ19億00百万円増加しており、事業運営を進めるための十分な運転資金を有しております。このように当該状況を解消するための対応策を継続して実施中であり、継続企業の前提に関する不確実性はないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,312,542	7,212,926
受取手形及び売掛金	3,994,108	2,973,884
商品及び製品	1,030,392	1,088,803
仕掛品	567,194	541,975
原材料及び貯蔵品	844,296	808,964
その他	393,552	251,764
貸倒引当金	6,955	10,802
流動資産合計	12,135,131	12,867,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,255,116	2,275,402
機械装置及び運搬具(純額)	1,548,360	1,752,954
その他(純額)	876,538	920,409
有形固定資産合計	4,680,016	4,948,766
無形固定資産		
投資その他の資産	124,188	144,328
投資有価証券	1,372,745	1,455,227
関係会社出資金	471,457	-
その他	2,232,653	2,292,668
貸倒引当金	864,883	864,823
投資その他の資産合計	3,211,973	2,883,072
固定資産合計	8,016,178	7,976,168
資産合計	20,151,310	20,843,684
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,079,173	1,095,893
短期借入金	176,718	182,187
未払法人税等	73,451	76,419
賞与引当金	286,873	160,858
固定資産撤去費用引当金	40,000	40,000
その他	679,140	879,828
流動負債合計	2,335,357	2,435,187
固定負債		
退職給付引当金	193,641	204,511
その他	494,440	523,932
固定負債合計	688,082	728,444
負債合計	3,023,440	3,163,631

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	9,768,291	9,903,092
自己株式	948,819	949,054
株主資本合計	17,728,864	17,863,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,051	241,158
為替換算調整勘定	1,182,755	813,769
その他の包括利益累計額合計	995,704	572,610
新株予約権	6,672	8,712
少数株主持分	388,038	380,520
純資産合計	17,127,870	17,680,052
負債純資産合計	20,151,310	20,843,684



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,071,827	3,000,054
売上原価	2,307,512	2,227,198
売上総利益	764,315	772,855
販売費及び一般管理費	890,841	887,298
営業損失( )	126,526	114,442
営業外収益		
受取利息	5,767	5,124
受取配当金	13,277	41,756
受取賃貸料	29,121	24,882
為替差益	11,542	179,775
貸倒引当金戻入額	27,326	-
その他	44,107	37,556
営業外収益合計	131,142	289,095
営業外費用		
支払利息	231	264
固定資産賃貸費用	11,490	10,969
外国源泉税	-	16,447
その他	6,711	2,171
営業外費用合計	18,434	29,853
経常利益又は経常損失( )	13,817	144,799
特別利益		
固定資産売却益	-	315,946
受取保険金	520,000	-
災害損失戻入益	37,490	-
特別利益合計	557,490	315,946
特別損失		
減損損失	-	22,971
特別損失合計	-	22,971
税金等調整前四半期純利益	543,672	437,774
法人税等	11,602	53,908
少数株主損益調整前四半期純利益	532,069	383,866
少数株主利益	8,549	11,359
四半期純利益	523,519	372,506

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	532,069	383,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,005	53,702
為替換算調整勘定	175,440	386,462
その他の包括利益合計	127,434	440,165
四半期包括利益	659,504	824,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	668,760	795,600
少数株主に係る四半期包括利益	9,256	28,431

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	2,991,172	80,655	3,071,827		3,071,827
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,383	96,285	98,668	(98,668)	
計	2,993,555	176,940	3,170,496	(98,668)	3,071,827
セグメント損失( )	95,770	33,043	128,814	2,288	126,526

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,648,673	1,235,198	107,299	2,991,172		2,991,172
地域間の内部売上 高又は振替高	1,372,758	1,088,562		2,461,320	(2,458,936)	2,383
計	3,021,431	2,323,761	107,299	5,452,492	(2,458,936)	2,993,555
地域別利益又は損失 ( )	53,947	34,547	1,731	86,763	9,007	95,770

2. セグメント損失( )の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失( )と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	2,934,027	66,027	3,000,054		3,000,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,284	148,071	150,355	(150,355)	
計	2,936,311	214,098	3,150,410	(150,355)	3,000,054
セグメント損失( )	27,630	88,622	116,253	1,810	114,442

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,401,970	1,424,106	107,950	2,934,027		2,934,027
地域間の内部売上 高又は振替高	1,423,588	1,343,024		2,766,613	(2,764,329)	2,284
計	2,825,559	2,767,130	107,950	5,700,640	(2,764,329)	2,936,311
地域別利益又は損失 ( )	99,127	122,026	9,470	13,428	14,202	27,630

2. セグメント損失( )の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失( )と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、事業環境の悪化に伴う収益性の低下により、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において22,971千円であります。

5. 補足情報

製品別販売実績

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック(千円)	1,270,851	41.4	1,241,639	41.4	97.7
可変抵抗器(千円)	693,809	22.6	637,063	21.2	91.8
固定抵抗器(千円)	277,475	9.0	362,779	12.1	130.7
その他(千円)	749,035	24.4	692,545	23.1	92.5
小計(千円)	2,991,172	97.4	2,934,027	97.8	98.1
その他					
その他(千円)	80,655	2.6	66,027	2.2	81.9
小計(千円)	80,655	2.6	66,027	2.2	81.9
合計(千円)	3,071,827	100.0	3,000,054	100.0	97.7